

第1回岡山大学医療系部局病院倫理審査専門委員会議事要旨

日 時 平成26年6月23日（月）10:02～11:02

場 所 医学部小会議室（医学部管理棟3階）

出席者 栗屋委員，大塚委員，木股委員，矢尾委員，山下委員

欠席者 木浦委員

陪席者 人見総括主査，福田主査，井上事務職員

議 題

1) 委員長について

議事に先立ち，人見臨床研究推進支援事務室総括主査の議事進行のもと，委員長が互選により選出され，栗屋委員が選出された。

2) 未成年ドナー候補に対する生体肝移植について（肝・胆・膵外科 八木教授）

議事要旨は，臨床研究推進支援事務室において作成・保存

3) 申請書の様式について

委員長の指名により人見総括主査から，資料に基づき説明があり，申請書の様式については，今回の移植の申請だけではなく，輸血拒否の申請も想定できることから，最低限のものとしたい旨提案があり，審議の結果，承認された。併せて，承認通知書についても倫理委員会と同様のものとしたい旨提案があり，承認された。

4) その他

委員から，本委員会委員に外部委員を加えるべきであるとの意見があり，これまでの倫理委員会経験者から，統合前のヒトES細胞研究倫理審査委員会委員であった一井暁子氏に委員就任を打診することとなった。また，委員数ももう少し増やした方がいいとの意見もあり，救急科氏家良人教授に委員就任を打診することとなった。

また，多様な形態の申請があること，緊急での開催が想定されることから，次の意見が出されたが，今後の審議の状況を見ながら検討していくこととなった。

- ・ 当該事例限りの審議をする臨時的委員を委嘱できるようにすること。
- ・ 委員長が必要と認めたものを委員とすることができるようにすること。
- ・ 議決権のないオブザーバーの参画を認めるようにすること。
- ・ できるだけ賛否を述べる機会を担保するようにしてもらいたい。欠席の場合でもメール等で意見を述べる機会を設定し，それを尊重すること。
- ・ 過去の事例・問題点を列挙して整理願いたい旨発言があった。

以 上